生きものにぎわい

【方策】
A　里山（森林）の整備
B　水辺景観の保全・活用
C　水文化の保存・再生・活用

猪子山森林再生活動

伊庭の水郷

生きものにぎわいの保全・再生

（一社）能登川地区まちづくり協議会

【事業の提案】
〇森林再生プロジェクト等への支援（A）
〇地域のボランティア団体との連携協力による森林整備（A）
〇日本遺産認定をきっかけにした「伊庭の水辺景観」等の保全・活用に対する支援（B）
〇水文化の普及啓発（C）

「観光地（にぎわいの創出）」と「静かな生活の場（地元の住民の思い）」との折り合い

【水文化とは・・・国土交通省「水文化指針」より】
人々が、水を上手に活用し、また水を制する中、長い時間をかけ、生み出されてきた有形、無形の文化や伝統です。各地域はそれぞれ、個性的な「水文化」を持っています。
「水文化」には祭事や信仰、伝統工芸、水車や堰等の施設などがあげられますが、それに加え、水を中心とした生活パターンや生活様式も「水文化」ととらえます。子どもの水遊びも、立派な「水文化」です。
「水文化」は地域固有の自然環境や社会条件の中で、磨き上げられたものです。そのため、「水文化」は、その地域の姿を映し出す鏡となります。また「生活の知恵」を内に秘めたものでもあります。

自噴井戸

カワト

地域住民
・NPO

能登川
博物館・図書館

【情報発信ツール】
〇紙媒体　〇インターネット　〇ラジオ　など

地域外住民

【ねらい】
○「地域の宝」の発掘・顕在化（見える化）・ストーリー化。
○地域資源マップの作成・配布・活用の各段階で、地域の顔の見える関係づくり（ネットワーク化）に役立つ。

地域の宝

【方策】
A　地域の宝さがしと宝磨き
B　地域資源の見える化

地域の宝の掘り起し＆見える化

（一社）能登川地区まちづくり協議会

【事業の提案】
○自治会の宝さがしと宝磨き（A）
○「eてんこもり（仮称）」自治会ページの更新（A）
○地域資源のマップづくり（B）

＜「eコミマップ」を使った地域資源のマップづくり＞
※　防災科学技術研究所が開発しているインターネットを使ったマップ作成システム「eコミマップ」を利用しながら、地域の防災資源・社会資源や危険個所、災害時の対応や日頃の防災活動などを記した地域オリジナルのマップ「e防災マップ」づくりに能登川まち協も取り組んでいます。

自治会

地域住民
・NPO

能登川
博物館・図書館

スポーツ資源
歴史・文化資源
自然・環境資源
エネルギー資源
○○資源
○○資源

資源ごとにマップ化
（地図に落とし込む）

ふるさと散歩道

歴史・文化

【方策】
A　ふるさと散歩道普及・活用
B　公共施設との連携
C　人材づくり

受講生

知識
やる気
自信　・・・

ゲット！

相互作用
（刺激）

講師

歴史・文化イベントの拡充

（一社）能登川地区まちづくり協議会

【事業の提案】
〇ふるさと散歩道ガイドの実施、「ふるさと散歩道」ルート散策会の開催（A）
〇「ふるさと散歩道紹介DVD」「ふるさとばなしCD」などの制作・活用（A）
〇能登川博物館・図書館との連携を強化した歴史・文化イベントの拡充（B）
〇子どもを対象にした「（仮）能登川ふるさと塾」の開催（C）

【塾のカリキュラム（例）】
〇郷土料理教室
　地域の食材を使った故郷の味を学ぶ。
〇ものづくり教室
　能登川の伝統素材である麻、よし、竹を使った細工教室。
〇民話塾
　能登川に伝わる民話や文化、歴史を学び、生きる知恵や教訓を学ぶ。
〇里山体験（生きもの観察、植物観察）
　里山観察や無農薬田んぼの学習を通して、「命」「自然」の大切さを学び、ふるさとの魅力を再発見する。

【「（仮）能登川ふるさと塾」のねらい】
〇能登川の将来を担う子どもたちの「ふるさと能登川」に対する理解と愛着を育む。
〇活動に参加する大人たち（元気な高齢者）も地域への貢献や生きがいづくりにつながり、さらには地域文化が未来に伝えられることになる。
〇子供たちは地域によって育てられ、地域は子供たちによって支えられることの場づくり。

能登川
博物館・図書館

小学校の
教師

テーマごと
の専門家

地域住民
※　子どもたち＆
　　元気な高齢者

産業振興

【方策】
A　農業振興への支援
B　観光振興への支援
C　雇用確保への支援

魚のゆりかご
水田米を使った料理教室

稲刈り体験

伊庭の坂下し祭り

能登川水車と
カヌーランド

産業振興への支援

（一社）能登川地区まちづくり協議会

【事業の提案】
○食の地産地消としての郷土料理の普及（A）
○環境こだわり農業の推進（A）
○観光モデルコース（プラン）の提案（B）
○JR能登川駅および駅周辺施設への観光情報の提供（B）
○SNSを活用した観光口コミ情報の収集と発信（B）
○東近江市観光協会との連携による観光ガイドの育成（B）
○雇用確保のための官民協働の取り組み（C）

連続講座

ハローワーク

観光情報の
集約・プラン化

東近江市

能登川
博物館

郷土料理研究
（実践）家

健康推進員

JR能登川駅
（JR西日本）

東近江市観光協会

地域住民

地域外住民

ハローワーク・
企業・商工会等

交通（鉄道・道路）

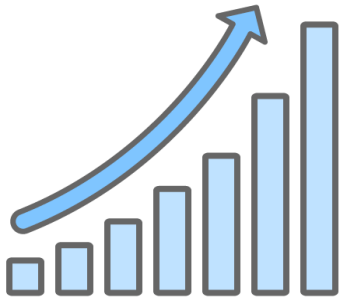
【方策】
A　政策提案・要請活動

交通に関する政策提案・要請活動

（一社）能登川地区まちづくり協議会

JR能登川駅
（JR西日本）

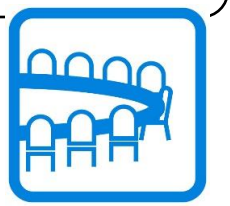
【事業の提案】
〇JR能登川駅利用促進（A）
〇JR能登川駅東口の活性化（A）
〇道路整備（A）
〇愛知川左岸堤防道路の早期整備（A）
〇「ちょこっとバス（タクシー）」の利用促進（A）



政策提案
要請活動

東近江市
・滋賀県

東近江市地域
公共交通会議



教育・福祉・生きがい・人材づくり

植栽活動

能登川病院

能登川
コミュニティセンター

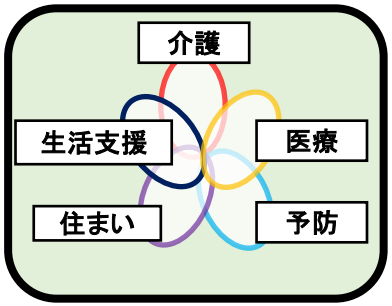
【方策】
A　子育て支援と食育活動　　B　地域包括ケアシステムとの連携　　C　健康づくり
D　体力づくり　　E　世代間・地域間交流の基盤（きっかけ）づくり
F　人づくり・ネットワークづくり　　G　若者の定住促進

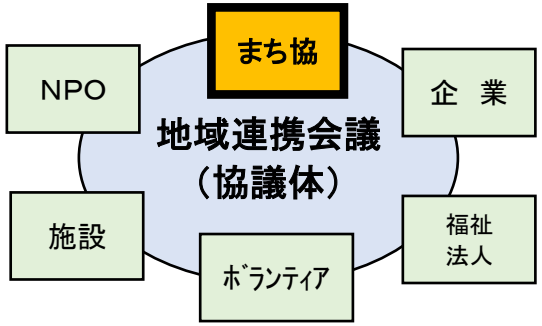
（一社）能登川地区まちづくり協議会

【事業の提案】
〇子育て支援や食育活動をテーマに活動している関係機関等との協働（A）
〇子育て応援活動支援（A）
〇子どもを対象にした「（仮）能登川ふるさと塾」の開催（再掲）（A）
〇やわらぎの郷公園「親子フェスタ」の開催（A）
〇能登川病院と地域住民によるサポート体制づくりと実践（B）
〇生活支援サービスの連携体制への参画（B）
〇認知症による徘徊者の早期発見・声かけ訓練（B）
〇健康づくりのための講座・セミナー等の開催（C）
〇健康福祉活動団体への支援と協働（C）
〇まち協主催のスポーツイベントの開催（D）
〇指定管理施設を活用した新しいコミュニティの形成、居場所づくり（E）
〇地域イベントの共催（E）
〇住民が親しく交流できるイベント情報の収集・発信の充実（E）
〇「能登川大好き人間大集合！」イベントの仕掛け（E）
〇食のイベントの開催（E）
〇まちづくり担い手育成セミナー（ワークショップ）の開催（F）
〇若者チャレンジ応援（F）
〇活動団体連絡会の開催（F）
〇結婚応援セミナーの実施（G）　　〇空き家・空き店舗の活用（G）
〇雇用確保のための官民協働の取り組み（再掲）（G）

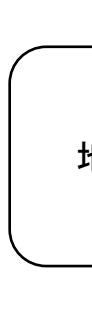
【（仮）能登川自慢交流大会（例）】
〇基調講演　〇先進事例発表　〇ご当地クイズ　〇若者チャレンジ企画コーナー　〇「食のイベント」の併催　など

地域包括ケアシステム～30分でかけつけられる生活圏域～



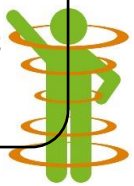


集中講義

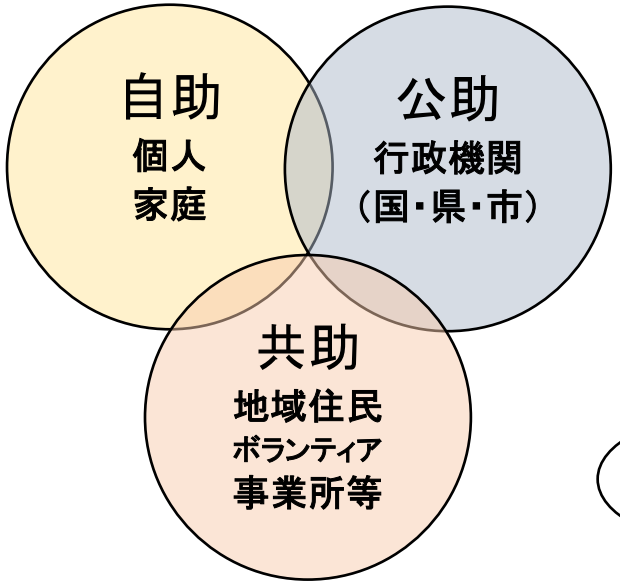


受講参加

地域住民

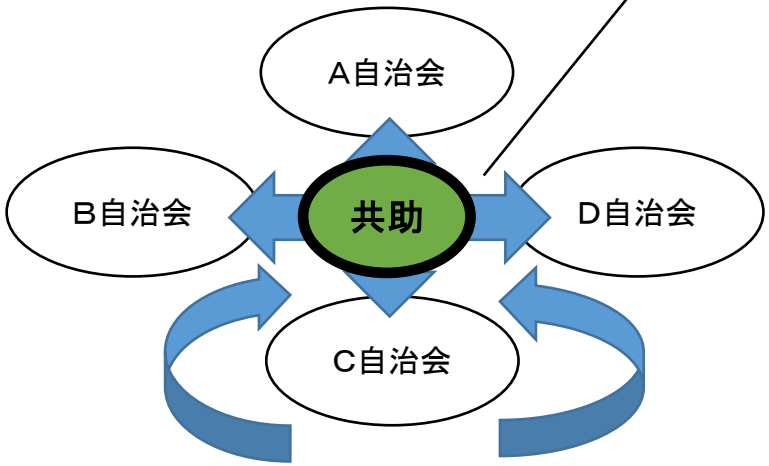


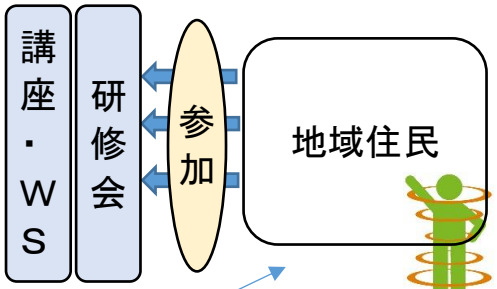
防犯・防災



【方策】
A　空き家（空き店舗）対策
B　自主防災組織の充実
C　防災リスクの見える化

【課題】
地域住民の防犯・防災に対する高い関心を、「共助」への参加行動へといかに結びつけていくか！



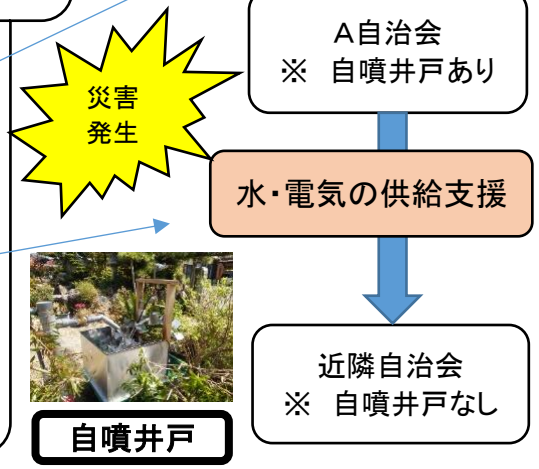


能登川病院

東近江市・滋賀県

（一社）能登川地区まちづくり協議会

【事業の提案】
○空き家・空き店舗の活用（再掲）（A）
○「自主防災研修会」「自主防災活動リーダー研修会」の開催（B）
○防災ワークショップの開催（B）
○出前講座の実施（B）
○体験（実践）型防災訓練への支援（B）
○災害時における自噴井戸の利活用システムの構築研究（B）
○「e防災マップづくり」の推進（C）



環境保全・地域エネルギー

【方策】
A　環境美化
B　ごみの減量化の推進
C　再生可能エネルギーの普及
D　エネルギーの地産地消の推進

太陽光発電

環境にやさしい社会への移行

（一社）能登川地区まちづくり協議会

【事業の提案】

〇「フラ輪―プロジェクト～花でつながる地域の輪～」への支援（A）
〇やすらぎの花公園の管理運営（A）
〇段ボールコンポスト利用促進（B）
〇廃食油回収（C）
〇自然エネルギーの地産地消の推進（D）

※「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」の観点から、身近にある小さなエネルギーについて、楽しみながら学ぶ学校（連続講座）を開設。実際に施工や設置の取り組みをしている専門家に基礎や技術を学び、ワークショップや見学会を通して地域全体で考え、楽しく実践する。
プログラム構成は、「知る」＝講義、「体験」＝ワークショップや見学会、「交流・共有」＝感想のシェアや意見交換、主にこの3軸で構成する。
受講対象者　・自然エネルギーを取り入れたい方
・持続可能な暮らしに興味のある方
・地域のために何かできないかと考えている方

自噴井戸の共同利用

省エネ　創エネ　蓄エネ

個人や地域で自然エネルギー～風力、太陽光、水力、地熱、バイオマスなど～を自給しよう！

自然エネルギー学校（連続講座）